

だいにこく通信 第十四号「夏の号」

ついでに

日頃より当神社での神明奉仕にご協力を賜り、ありがとうございます。

東京では早々と梅雨入り宣言が出ましたが、はじめは一向に雨に恵まれず、空梅雨かなと思っておりました。ところが、急にまとまった雨が降ったり、果ては台風が来たりと、なんとも落ち着かない天気が続いております。今回は当神社の催しや境内整備などについてご紹介いたします。

不純な天候はまだしばらく続くようです。くれぐれも体調に気をつけてお過ごしくださいませ。

大國神社 宮司 大島資生



大國神社の今

(1) 第一回だいにこく落語会」を開催しました



お蔭様をもちまして、去る五月二十四日、第一回だいにこく落語会を盛況のうちに開催することができました。ご来場くださいました皆様、ありがとうございます。古今亭菊之丞師匠の「替り目」「井戸の茶碗」二席をたつぷり聴かせていただきました。間近で観る伝統の話芸、表情や口調の細かい使い分け、無駄のない仕草、さすが実力派と感服いたしました。当神社の笑顔の大國さまと一緒に、大いに笑って過ごすことができました。次回「第二回だいにこく落語会―古今亭菊之丞落語会―」は、十月の開催を予定しております。詳細が決まりましたら、改めてご案内いたします。

(2) 外灯を増設しました

夜の参拝、催事などに対応するため、境内の石灯籠にLED照明を設置し、障子も新調しました。さらに、裏手口そばに庭園灯を一基新設しました。

(3) 社殿・社務所の点検補修を実施しました

建築業者による、社殿と社務所の点検・補修を行いました。社殿正面の扉、社殿と社務所の間、社殿側面入口および天窓の調整を行いました。特に、社殿正面の扉は扉自体の重さのため、開け閉めの際にかなり力が必要でした。補修の結果、依然やや重いですが、開け閉めがいくらか楽になりました。



お宮あれこれ「榊」の話

神社での神事に欠かせない植物の一つが「榊」です。今回は榊についてお話ししましょう。

神社の拝殿には、榊に五色の布を垂らしたものがよく見られます。これは「真榊」といい、神様をたたえ、威儀を示すものです(次頁写真)。『古事記』には、天照大御神が天石屋戸にお籠りになった際、榊に玉や鏡、布をつけて石戸の前に立てたと記されています。これが真榊の起源と言えるでしょう。

「さかき」という名前の由来には説がいくつかあるようです。まず、「境の木」、つまり神様の領域と人間の領域を分ける「結界」の木という意味だという説があります。



もう一つ、「さかき」は現在はツバキ科の植物の名前ですが、本来は常緑樹の総称だったそうです。常に緑であるということから、「栄の木」がもともとの意味だという説もあります。神聖な場所を表わす木、あるいは絶えることのない活力を持つ木、いずれにしても特別な意味合いを持つ樹木だと考えられていたことは間違いないでしょう。

榊は、真榊以外に、お祓いの際に邪気を祓う「大幣」、お参りの際にご神前に手向ける「玉串」など、神社での祭礼の様々な場面で登場します。なお、「榊」という字は、このように神事に用いられるところから、「木」と「神」を組み合わせて日本で作られた漢字（国字）です。

先に記したとおり榊は常緑樹で、季節を問わず青々とした葉

を茂らせますが、六月ごろには小さい白い花をたくさんつけます。特有の強い香りがある花です。また、十一月ごろになりますと、丸い小さな実がつきます。この実は熟すと黒っぽい汁を含みます。落ちているのをうっかり踏んで服などに色がつくとなかなかとれません。榊の生命力を示すものと言えるでしょう。神社でのご奉仕の中で榊の姿の変化を見ていると、季節の移り変わりを実感します。神社にお参りの際、さまざまな季節を告げるものを探してみてはいかがでしょうか。



祭礼・祈禱のご案内

○次回甲子祭

平成二十五年八月二十六日(月)

(一)祈禱時間 午前五時～正午

○開運千人講祈禱祭 毎月一日(午前六時～正午まで)

○お祓いのお申し込み・お問い合わせなどは以下の電話番号に
お願いいたします。

不在の場合は、恐れ入りますが、留守番電話のメッセージの
あとで、お名前・お電話番号・ご用件をお話してください。のち
ほどこちらからご連絡いたします。

○諸祈禱受付 商売繁盛祈願、心願成就祈願、厄除け、お宮
参りなど、随時祈禱を行なっております。祈禱日時については、
お電話にてご相談ください。

〈お問い合わせ・お申し込み〉

○三三三九一八七九三〇

お急ぎの場合は携帯電話へ ↓ ○八〇一九八七七八七二六

eメール daikokujinja@gmail.com

次号発行予定

「だいきく通信第十三号」、いかがでしたか。次号「秋の号」は、
平成二十五年十月二十五日の甲子祭に発行予定です。

「だいきく通信」第十二号 平成二十五年六月二十七日発行
編集・発行 大國神社社務所

〒一七〇〇〇〇〇三 東京都豊島区駒込三二二一十一

<http://www.daikokujinja.org>

